

南丹市立障害者支援施設運営  
委員会  
議 事 録

南丹市立障害者支援施設運営委員会事務局  
(南丹市福祉保健部社会福祉課)

令和3年度第2回南丹市立障害者支援施設運営委員会議事録

1. 招集年月日 令和3年11月30日（火）
2. 開催年月日 令和3年12月13日（月）午前10時～
3. 開催場所 南丹市役所2号庁舎 3階 301会議室

4. 委員の総数及び出席者数並びにその氏名

- (1) 委員の総数 15名
- (2) 出席者数 15名
- (3) 出席した委員の氏名（敬称略）

役職	氏名	選出区分	出欠	備考
委員長	塩貝 潔子	社会福祉関係者	○	
副委員長	中川 剛	社会福祉関係者	○	
委員	平井 喜代子	障害福祉関係者	○	
委員	船越 昭	障害福祉関係者	○	
委員	塩貝 範子	障害福祉関係者	○	
委員	木村 孝子	障害福祉関係者	○	
委員	谷口 和隆	社会福祉関係者	○	
委員	坪井 秀粹	社会福祉関係者	○	
委員	奥村 史代	障害福祉関係者	○	
委員	宇野 弘一	障害福祉関係者	○	
委員	平家 佐織	事業利用者家族の会	○	
委員	湯浅 徳子	事業利用者家族の会	○	
委員	山内 正	学識経験者	○	
委員	井尻 治	学識経験者	○	
委員	麻田 育良	市議会議員	○	
合計	15名		15名	

5. 傍聴者数 0名

6. 議事の経過の要領及び議事別の議事事項

司 会	<p>失礼します。定刻になりましたので、ただ今から南丹市立障害者支援施設運営委員会を開会させていただきます。</p> <p>司会を務めさせていただく南丹市社会福祉課 課長 の奥村 でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、15人の委員のうち、15人全員に出席いただいておりますので、南丹市立障害者支援施設条例第11条第2項に定める過半数以上の出席となっておりますので、本委員会は成立していることを報告いたします。</p> <p>まず初めに、委員の交代について報告いたします。これまで八木 節子さんに委員長をお世話になっておりましたが、南丹市社会福祉協議会の役員改選により、本委員会委員を交代されましたので報告させていただきます。</p> <p>また、新たに中川 剛 さんに委員としてお世話になることとなりました。中川委員、一言ご挨拶をよろしくお願いいたします。</p>
中川委員	<p>改めまして、おはようございます。八木の中川と申します。今後ともよろしくお願いいたします。</p>
司 会	<p>中川委員、ありがとうございました。ただいま報告いたしました委員の交代に伴いまして、委員長が空席となっております。委員の皆様の中から委員長を選出させていただきますが、南丹市立障害者支援施設条例第10条により、委員長は委員の互選により選出させていただきたいと思っております。</p> <p>どのようにさせていただいたらよろしいか、お諮りします。</p>
委 員	<p>特になし</p>
司 会	<p>特になさいますので、事務局より提案させていただきます。</p> <p>委員長は、現在、副委員長の 塩貝 潔子 委員にお願いしたいと存じますが、ご異議はございませんか。</p>
委 員	<p>異議なし</p>
司 会	<p>ありがとうございます。それでは塩貝 潔子 委員に委員長としてお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、塩貝委員に委員長をお世話になりますので、副委員長が空席となります。副委員長につきましても同様に委員の互選により選出させていただきます。</p> <p>どのようにさせていただいたらよろしいか、お諮りします。</p>
委 員	<p>特になし</p>
司 会	<p>特になさいますので、事務局より提案させていただきます。</p> <p>副委員長は 中川 剛 委員にお願いしたいと存じますが、ご異議はご</p>

	ございませんか。
委員	異議なし
司会	<p>ありがとうございます。それでは中川 剛 委員に副委員長としてお世話になります。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>また、中川委員には八木地区の小委員会の委員長を併せてお願いしたいと存じますがいかがでしょうか。</p>
委員	異議なし
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、八木地区の小委員会の委員長につきましても中川委員にお世話になります。よろしく願いいたします。</p>
司会	<p>それでは議事に入らせていただきます。</p> <p>南丹市立障害者支援施設条例第11条第1項の規定により、塩貝委員長に議長をお世話になりますので、よろしく願いいたします。</p>
議長	<p>失礼します。改めまして、ただいま、委員長として任命いただきました塩貝潔子と申します。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>昨年、八木前委員長のもとに副委員長に就いたばかりで、このような大役を受けさせていただくこととなり、非常に恐縮ですが、委員の皆様のご意見をいただきながらこの運営委員会を進めて参りたいと思いますので今後ともどうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは議事に入らせていただきますので、円滑な議事の進行に、ご協力をお願いいたします。</p> <p>はじめに、「4. 報告事項」施設の運営状況について、に入ります。事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>皆様おはようございます。南丹市社会福祉協議会自立支援部長の新井と申します。どうぞよろしく願いいたします。運営委員の皆様におかれましては日々、あじさい園ならびにひより舎の運営にご尽力いただいておりますことを御礼申し上げます。</p> <p>それでは、私の方からあじさい園ならびにひより舎の運営状況を報告させていただきます。着座にて失礼します。</p> <p>本日、お配りさせていただきました、資料に基づいてまず、あじさい園の方からご報告いたします。続いて、ひより舎の報告をいたします。</p> <p>資料の1枚目をご確認ください。</p> <p>今年度の4月から10月のあじさい園の資金の流れについて、収入、支出、収支差額を記載しております。その下に月別の利用者数を事業所の稼働率として算出しております。あわせてご確認ください。</p>

収支の状況について、10月末現在で合計、▲19万2千円ということですが、これまでのあじさい園の運営状況からしますと、非常に安定していると思っております。利用者数につきましてもこのコロナ禍という難し状況ではありますが、毎月、延べ500人以上の利用があり、稼働率についても10月末までで約74.5%と、まずまずのところでございます。

次に現状についてですが、前提として今年度についてもコロナ禍により、運営状況については厳しいところがありましたが、利用者、職員一同コロナに負けずに運営をすることができたというところを報告させていただきます。

現状については31名の登録者数のうち、新たに2名、新規ご利用者としてお迎えすることとなり、スタートをしております。

事業活動につきましては南丹市の方から八木駅の清掃業務を新たに受託することとなりました。また、アルミ缶のリサイクル事業については、八木町内の企業より協力をいただくことができました。こうしたところで地域との連携においても少しずつ成果がでてきていると感じています。

ただ、先ほどから申し上げているとおり、コロナの影響はまだまだあり、下請け作業の停止であったり、活動そのものを自粛せざるを得ない状況にあります。

そのような状況により、利用者の中にはストレスや不安を抱える方もいらっしゃるだったので、職員においては、障害支援という部分で専門的なサポートをしていくのですが、この半年間はそのような精神面のケアに力を注いできました。今後も感染リスクを減少させながら、あじさい園を休園させることなく活動していくことも大切だと考えております。

10月に入り、緊急事態宣言が解除されたこともあり、経済活動についても動き始めているので、あじさい園の活動も動きつつあると実感しているところです。

資料の中で写真を掲載させていただいておりますが、左の写真の方はあじさい園で定期的開催しておりました音楽療法の様子です。緊急事態宣言の発令もあり、集まったの実施は難しいところもありましたが、なんとか工夫をしながら実施した様子を掲載させていただいております。

その横に小さい写真ですがアルミ缶の回収場として2枚掲載しておりますが、ジャトコさんの八木工場にアルミ缶の回収箱を置かせていただいているものです。

次に課題についてですが、繰り返しになりますが、コロナ禍において、生産活動等、いかに安全に活動していくかというところを検討していかな

ければならないと思っています。この状況が長期化する中、感染予防対策や利用者の安全について、職員は不安や責任を感じながら過ごしております。職員が疲弊してきているので、そのサポートについてもしっかり考えながら、努めていくということが大きな課題になってきていると思います。

実際の対策としては、利用者、職員ともにワクチンの接種を進めているところです。ただ、さまざまな事情により、ワクチンの接種ができない方もいらっしゃいますので、配慮をしながら個別の対策を取っているところです。その他にはアクリルパネルや自動検温装置等を設置させていただいております。施設のレイアウトについても今年度2回変更しております。状況に応じて密を避けて活動できるように職員が考え、取り組んでおります。資料に記載はありませんが、職員については定期的にPCR検査を受けております。また、10月から2名の非常勤職員を採用することとなり、人員体制についても整備を進めています。

続きまして2枚目をご覧ください。こちらではあじさい園の就労支援の事業について取りまとめております。大きく4つに分けておりますが、利用者の方がそれぞれにできることに取り組んでいただいております。それぞれ、事業名や内容について記載しております。また、各事業の内容の右側には4月から9月の収入について記載しておりますのでご確認ください。受託事業については南丹市よりいただいた仕事について記載しております。その他事業については南丹市内の企業より派遣や下請けの仕事を提供いただいております。アルミ缶のリサイクル事業については年に2～3回、京都市伏見区の営業所より引き取りに来ていただいております。階段の清掃をしている写真があるかと思いますがこちらが八木駅の清掃業務の様子を写しています。もちろん、晴れの日だけではなく雨の日もありますし、暑い日も寒い日もありますが、利用者は責任感をもって仕事に取り組んでくれています。その下の作業服を着ている写真については、作業服を着ているのが利用者と職員でありまして、先ほどの伏見区の営業所から引き取りに来ていただいた時の積み込み作業の様子です。

生活介護につきましては、トイレトペーパーの販売、さをり織製品の販売をメインに取り組んでおります。トイレトペーパーについては製造を石川県の工場で行っておりまして、それを長岡京市の事業所が仕入れて、

そこからあじさい園の方に仕入れたところで、利用者の方に一つずつ包装してもらっています。

さをり織については京都府や南丹市から各行事等の記念品として大口の

受注をいただいております。これらの収入についても記載しておりますのでご確認ください。資料右下の所に利用者工賃や事業に係る支出を月別に記載しております。その左側に4～9月の収入と支出、収支差額をまとめました。

就労支援事業につきましては4～9月においては収支差額238,096円ということでした。

続きまして3ページ目、ひより舎についてご報告いたします。

4～9月までの収支差額は1,574,726円ということで、プラスの収支差額が出ております。利用者数についてはあじさい園より施設の規模が小さいこともあり、毎月、延べ300人ほどの利用となっております。こちらを稼働率で割り戻しますと、10月末までで約77.5%とこちらもコロナ禍を考えるとまずまずの数字が出ております。

現状については上半期の登録者数は23名で、途中で1名が退所されましたが、新たに1名の受け入れがありましたので登録者数に変わりはありませんでした。通所率については約76.8%と前年度の74.9%より微増となっております。こちらもコロナ禍の中、関係機関と連携を図りながら進めてきたところですが、通所者の作業の確保については、一部企業の業績低迷やイベント販売の中止等の影響もあり前年同様厳しい状況でありましたが、地域や企業の方の協力もあり、利用者の支援や取り組みに大きな影響はなかったところですが、前年度の12月より新たに始めました菓子製造業に関しましては販路の拡大等、課題はありますがまずは、品質の向上や安定に取り組んでいきたいと思っております。このような新たな事業を通して利用者一人ひとりがやりがいと成長を実感できることを大切にしていきたいと考えています。

また、日常やそれぞれの活動について写真を掲載しておりますのでご確認ください。地域の方に声をかけていただき、芋掘りをさせていただいたり、外出が難しいことから室内でできる鞆づくりをしたり、利用者が書かれた七夕の短冊や、昼食時における感染予防策としてアクリルパネルの設置などを写しております。

課題についてですが、就労支援事業全体の収入の維持や作業の確保、自主事業の拡大、それらを担える利用者の能力向上など、山積しております。また、これまでの課題でもありますが、多様化するニーズや特にひより舎は利用者の高齢化、重度化が進んでおりますので、それらに対応できる体制づくりや将来を見据えた経営・運営体制の構築が急がれると考えており

ます。このあたりは職員を中心に検討、議論をしております。

コロナ対策についてはあじさい園同様、利用者や職員のワクチン接種や職員の定期的なPCR検査、アクリルパネルや自動検温装置等の設置をしております。ひより舎ではカフェ事業としてひよりカフェを毎月開催しておりますがテイクアウトのみとさせていただき利用者の安全第一に事業実施をしております。あとは職員の専門性の向上等、利用者を支えるための部分についても力を入れているところです。

続きまして資料4ページ目になりまして、あじさい園同様、ひより舎の就労支援事業のうち、各事業ごとの収支について取りまとめております。

自主事業の菓子製造業についてですが、パウンドケーキは基本3種類としておりますが、試験的にいろいろな味を作ったりもしています。その他にフィナンシェやフロランタンを製造しております。販路としてスプリングス日吉や八木町にある喫茶ユメクサにて購入いただけるようになっております。

受託事業については南丹市からお知らせ、広報なんたんの仕分けや日吉保健センターの清掃業務をさせていただいております。

その他事業としましては主に下請け事業としまして、地元の企業より記載しているような仕事をいただいております。ひより舎の所在地により、日吉や美山の企業からいただく仕事がほとんどで、そういったご厚意のおかげでなんとか事業の運営ができています。

生活介護については、さをり織と手芸製品の加工製造販売として取り組んでおります。基本的には予約、受注をいただいてから製造をしております。スプリングス日吉や明治鍼灸大駅前のローソン、かやぶきの里、京都ほっとはあとセンター等でご購入いただけます。今年度は京都府より障害者のつどいの記念品として発注をいただき、製造させていただきました。

資料の右下に利用者の工賃と各事業の支出を取りまとめています。

左側に収入と支出、収支差額として記載しております。こちらの収支差額のみを見ますと、▲196,808円ということで赤字に見えますが、右側の支出合計の6月の利用者工賃の欄を見ていただきますと、779,390円が計上されております。こちらは6月に支給しました夏季ボーナスが含まれています。こちらにつきましては、後ほどの小委員会でも担当者より説明をさせていただきますが、この600,000円は原資はひより舎の運営におけるこれまでの繰越金を原資としております。そのため、実質的な収支差額で見ると赤字ではないということになります。

以上で報告とさせていただきます。



議 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま報告のありました両施設の運営状況、就労支援事業の報告についてご質問、ご意見のある方は挙手にてよろしく願いいたします。</p>
議 長	<p>特にございませんでしょうか。</p> <p>今回の資料は写真が掲載されていて、資料も統一されていますので、大変分かりやすくなっていたと思います。</p> <p>これからも運営委員会の中ではそれぞれの施設のことではありますけれども今回のように統一されたわかりやす資料であると嬉しく思います。</p> <p>他に委員の皆様からなにかございませんでしょうか。</p> <p>無いようでしたら協議については終了させていただきます。</p> <p>続きましてレジュメの「5. 小委員会の付託事項」についてです。</p> <p>今回の小委員会については、「八木障害者支援施設、日吉障害者支援施設の冬季賞与の配分」について協議いただきますので、よろしく願いします。</p> <p>この小委員会の付託について委員の皆様からご質問等がありますか。</p> <p>特になければ小委員会へ付託するということでもよろしく願いいたします。</p> <p>続きまして「6. その他」、に入ります。事務局から何かありますか。</p>
事 務 局	<p>特にありません。</p>
議 長	<p>事務局から特に無いようですが、この機会に委員の皆様から何かございませんでしょうか。</p> <p>それでは特に無いようですので全体会については議長を降壇させていただきます。円滑な議事進行にご協力いただき、ありがとうございました。</p>
事 務 局	<p>失礼いたします。</p> <p>塩貝委員長、円滑な議事進行ありがとうございました。</p> <p>それでは、閉会にあたりまして、中川副委員長からごあいさつをいただきます。よろしく願いいたします。</p>
副委員長	<p>初めて参加させていただきましたが、大変わかりやすい資料、説明でありました。コロナ禍により大変な面もあったかとは思いますが、両施設ともに順調に運営いただいていることと思います。</p> <p>コロナのために施設は休止されていると思っておりましたので、感染予防策を講じながら休止することなく運営されたことは大変素晴らしいと感じました。これも利用者や施設の職員の皆様の頑張りやご苦勞によるもの</p>

	<p>だと思ひます。改めて感謝を申し上げます。</p> <p>今後とも施設だけでは厳しいこともありますし、関係者や地域のみなさま、地元の企業などみんなで応援をしていきたいと思ひますのでどうぞよろしくお願ひいたします。以上で閉会のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、南丹市立障害者支援施設運営委員会全体会を閉会させていただきます。</p>